

## Zaurus に OpenBSD

### インストール

OpenBSD は、Zaurus をサポートプラットフォームの一つに持っています。  
というわけで SL-C3200 にインストール。

<http://journal.mycom.co.jp/articles/2006/03/20/openbsd/>

を、ざっと眺めてみた後、

ドキュメントを片手にインストール開始。

ipkg をインストールしようとしたら、エラーが発生したので  
手動でインストールすることに。

### パーティション切り分け

メンテナンスカーネルから、(D と B を押しながら裏のリセットボタンを押した後電源  
ON)fdisk でパーティションを切り分け。

### ブート

```
insmod zbsdmod.o  
cp bsd.rd /proc/zboot
```

- ・ここで、USB キーボードさしてたらブート中にパニック
- ・ここで、ダイアルアップ接続しっぱなしにしてたらパニック

### インストール

インストーラーの指示に従ってインストール。

と、ドキュメント通りに簡単にインストール終了。

mycom の記事にも書いてあったけど、

インストール最後に「halt」と入力するときにキーエコーがないのに注意、くらいか。  
で、リブート後、shell から

```
insmod zbsdmod.o  
./zboot
```

とかして起動。

起動を確認したので、ipkg の postinstall を実行。

### 起動から設定

root の shell は ksh なのね、とちょっと戸惑う。

設定は、rc.conf.local に記述。とりあえず、apmd をデフォルトで起動するように

```
armd_flags=""
```

と記述。また、Pressing the key longer than 3 seconds will do a nice halt のために

/etc/sysctl.conf に

```
machdep.kbdreset=1
```

## X11

X も起動するらしいのでわくわくしながら shell から

```
startx
```

とすると、果たして Fvwm が起動してくる。

... あれ USB キーボードがうまく使えない。というのは、xorg.conf の設定が

```
Option "XkbModel" "zaurus"  
Option "XkbLayout" "us"
```

となっているから。

かといって、うかつに

```
Option "XkbModel" "jp106"  
Option "XkbLayout" "jp"
```

とかしてしまうと、Zaurus キーボードで入力できない文字ができてしまって大変。

とりあえず、Xmodmap 使って対応することに。

## PPP

bmobile のカードを使っているので、ppp の設定

/etc/ppp.conf.sample の PAPorCHAPppmdemand の

phone,authname,authkey を書き換えて無事接続。

## USB

持ってたネットワークインターフェース

- Elecom Co., Ltd LD-USBL/TX

- intr: IOERROR がバリバリ出て、リモートな shell がたまに固まるけど、使える。